

研究課題名	大動脈食道瘻及び大動脈気管支瘻の治療成績とその予後の検討
研究の意義・目的	大動脈食道瘻 (aorto-esophageal fistula: AEF) 及び大動脈気管支瘻 (aorto-bronchial fistula: ABF) は何らかの原因により大動脈と食道ないし気管への大出血やそれらからの縦隔への感染の波及により全身性感染症に至る極めて予後不良の疾患です。現在、世界的にも明確な治療指針はなく、治療に難渋しているのが現状です。本研究は難治性の AEF や ABF 発生の頻度や成因、治療内容や周術期合併症の有無、治療による遠隔期予後に関し、当院での治療経験を把握し、その治療成績の向上や適切な治療戦略の選択をすることが可能になることを目的としています。
研究を行う期間	機関の長の実施許可日 ~ 2027 年 3 月
研究協力を お願いしたい方 (対象者)	2000 年 1 月から 2023 年 12 月までに当院で AEF または ABF の診断で手術加療を行なった患者様。
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせ ていただく試料・情 報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報：手術時年齢、性別、患者背景(臓器障害、高血圧や糖尿病の有無、抗血栓薬内服の有無、ステロイド内服の有無、過去の手術歴) AEF, ABF の成因 一次性；大動脈疾患、悪性腫瘍、異物など 二次性；人工血管置換術後、ステントグラフト内挿術後、他臓器疾患治療後など 手術情報(術前の状態、術式、併施手術の有無、手術時間) 追加治療の有無と内容；消化管手術や瘻孔切除の有無、人工血管置換術など 周術期合併症(院内死亡、脳・脊髄障害) 遠隔期合併症(遠隔期死亡、死亡原因)
試料・情報を 利用する者の範囲 および管理について 責任を有する者の 研究機関の名称	この研究は、公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科心臓血管外科学、集中治療医学で行います。 【研究責任者】 心臓血管外科学 教授 柴田利彦
本研究の 利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力を したくない場合	診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 心臓血管外科学 (担当者氏名) 野田和樹 電話番号：(06)6645-3980 メールアドレス：su23682q@st.omu.ac.jp